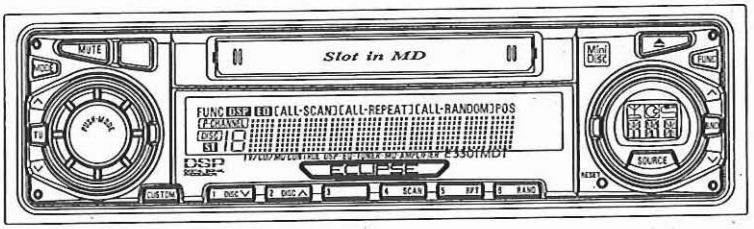
ECLIPSE

マルチコントロール　MDメインユニット

E3301MDT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。
  火災などの原因となります。
- 自動車の運転中にMD等の交換をしないでください。
  事故などの原因となります。
- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。
  大きな事故や窒息死の原因となります。
- 自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。
  このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。
- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。
  万一、お子さまが飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
  事故、火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。
  規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
  事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
  そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
  車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。
  火災や感電の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
  けがの原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
  感電やけがの原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
  スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機は、不可視レーザー光を使用しています。本機を分解、改造しないでください。
  万一不具合が生じた場合には、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆（視力の低下の原因）をもたらしたり、事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 指定の電池以外は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

  電池の破裂、液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性<＋・－>に注意し、表示通りに入れてください。

  間違えると、電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

目次

使用上のご注意 7

MDプレーヤについて 7
ミニディスク(MD)について 8
MDの清掃 9

各部の名称 10

基本操作 11

電源を入れる/切る 11
MDを聞く 11
ラジオを聞く 12
音量を調節する 13
その他 14

MD部の操作 20

MDを聞く 20
ディスクを取り出す 21
次の曲に進む/曲の頭に戻る 21
曲の始めの部分を演奏する(SCAN) 22
繰り返し演奏する(REPEAT) 22
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) 22
表示を切り換える 23

チューナ部の操作 24

自動的に放送局を記憶させる 24
手動で放送局を記憶させる 25
記憶させた放送局を確認する 26
放送局名を表示する 27
FM放送について 29

DSP／EQの操作 32

DSPの操作 32
EQの操作 33

リモコンの操作 36

使用上の注意 36
清掃について 36
電源を入れる/切る 37
音量を調節する 37
機能を切り換える 37
チューナ利用時の操作 38
MD、CD利用時の操作 39
TV利用時の操作（TVチューナ接続時のみ） 40
リモコンの設定を切り換える 41
電池を交換する 43

(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作 45

基本操作 45
CDのジャンルを表示させる 48

(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作 49

基本操作 49
表示を切り換える 52

困ったときは 53

インフォメーションが点滅する 53

仕様について 60

アフターサービスについて 62

◆使用上のご注意

⚠ 警告　走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

MDプレーヤについて

・ミニディスク挿入口へは絶対に異物を入れないでください。

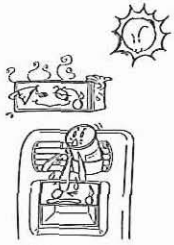
・長時間モード（MDLPモード）で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生するとトラックタイトルの頭に「LP：」と表示され、再生できません。（無音状態となります）

・悪路を連続走行した場合、音がとぎれたりすることがありますが、故障ではありません。

・寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、デッキ内部にも露(水滴)が生じることがあります。

この場合は、音がとんだり、再生が停止したりするので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

・本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



・夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてからお使いください。

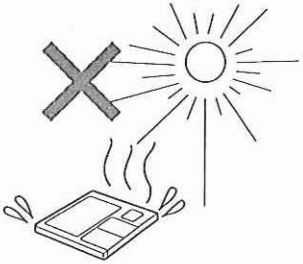
・湿気に注意してください。本気に液体が入ったりかかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。

・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

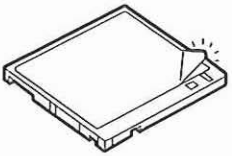
ミニディスク(MD)について

●注意●

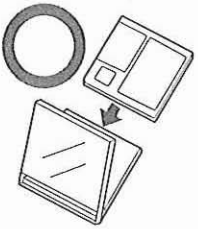
ミニディスクは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。ミニディスクが反り、使用できなくなる恐れがあります。



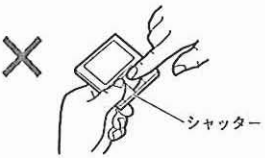
・ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるミニディスクは使用しないでください。



・ミニディスクは、ケースに入れて保管してください。

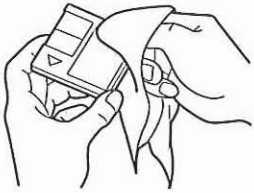


・ミニディスクのシャッターは、手で開けないでください。



MDの清掃

・ ミニディスクのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。



・ ディスク挿入口はホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

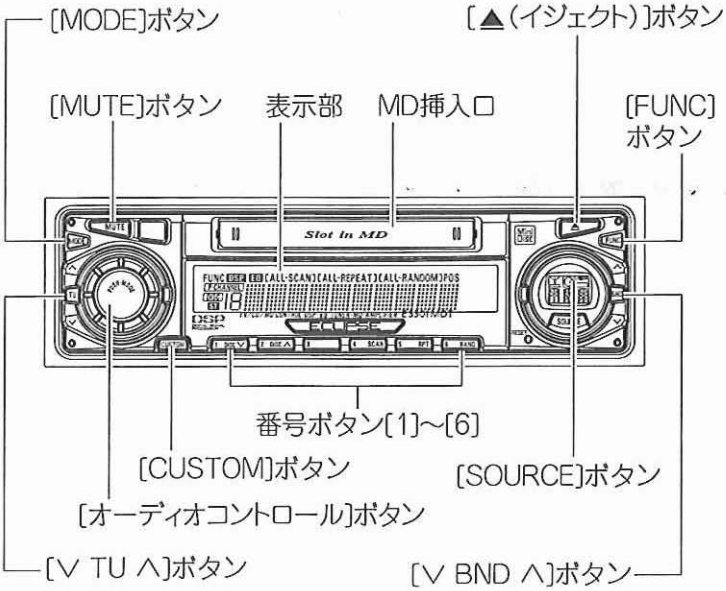
●注意●

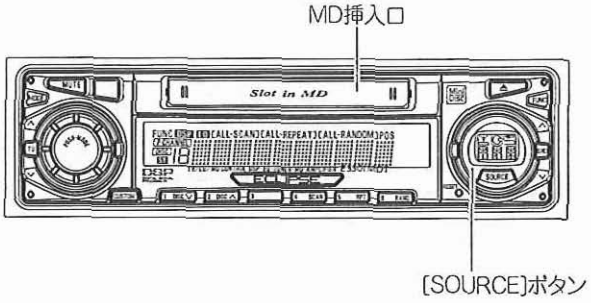
ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。

◆各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。
詳細は、各操作の説明を参照してください。(MD部の操作 20ページ、チューナ部の操作 24ページ)

本機正面





◆基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

■ 電源を入れる/切る

1. [SOURCE]ボタンを押す

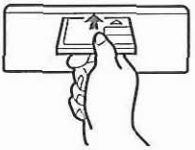
ボタンを2秒以上押すと、電源が切れます。(ALL OFF)
ボタンを短めに繰り返し押すと、チューナ→ディスク→TV→AUX*→PWR OFF(スタンバイ) の順にモードが切り換わります。

＊ポータブル機器から音声入力した場合、音がひずむことがあります。その場合は、接続している機器の音量を調整してください。

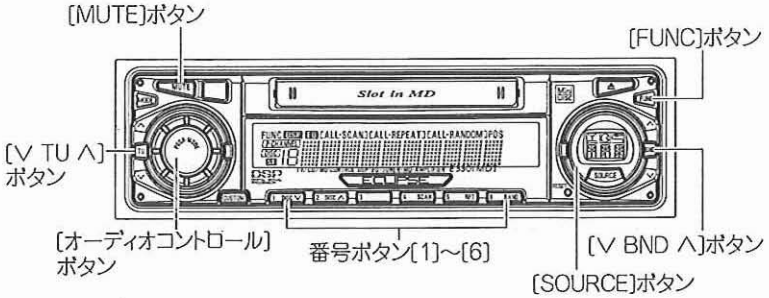
■ MDを聞く

1. 挿入口にMDを挿入する

挿入と同時に演奏を開始します。

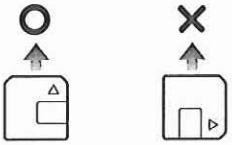


すでにMDが装てんされているときは、[SOURCE] ボタンを押してディスクモードに切り換えると演奏を開始します。



●注意●

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



■ ラジオを聞く

1. [SOURCE]ボタンを押してチューナモードに切り換える

チューナの操作に切り換わります。

2. [∨ BND ∧]ボタンを上下に動かして、FM/AMを切り換える

ボタンを動かすごとに次の順に切り換わります。

∧.....FM1→FM2

∨.....AM1→AM2

3. [∨ TU ∧]ボタンを上下に動かして、放送局を選択する

∧.....周波数の高いほうへ選局

∨.....周波数の低いほうへ選局

ボタンを動かしてすぐに手を離すと手動で、ボタンを動かした状態で1秒以上押さえると自動的に放送局を受診します。

放送局を記憶させてある場合は番号ボタン[1]〜[6]のいずれかを押して、放送局を直接選択できます。
(「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照)

■ 音量を調節する

1. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

左に回す.....音量が小さくなる

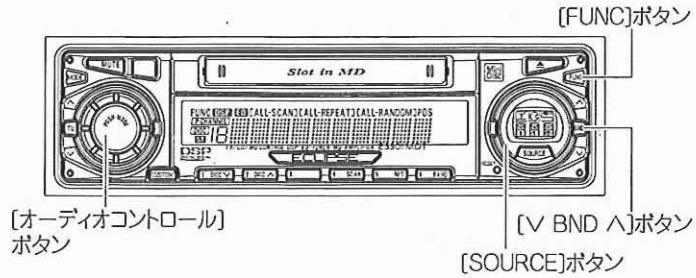
右に回す.....音量が大きくなる

▼瞬時に音量を小さくする

1. [MUTE]ボタンを押す

音量を大きくするには、もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[オーディオコントロール]ボタンを右に回します。

別売りのハンズフリーユニット接続時でテレフォンミュート機能をONに設定している場合は、[MUTE]ボタンを長めに（2秒以上）押すと、瞬時に音量が小さくなります。(14、16ページ参照)



■ その他

本機は、他に次のような機能があります。

▼設定項目の切り換え

1. [FUNC]ボタンを押す
2. [∨ BND ∧]ボタンを上下に動かして設定項目を選択する

   ボタンを∨方向に押すごとに次の順に項目が切り換わります。

   1. コントラスト調整（CONT）
   2. 時計表示機能ON/OFF（CLOCK）
   3. 表示優先切り換え（DISP）
   4. MDタイトルスクロールモードON/OFF（SCROLL）
   5. ガイドトーンON/OFF（TONE）
   6. テレフォンミュートON/OFF（T MUTE）＊
   7. フェーズ切り換え（PHASE）

   ＊別売りのハンズフリーユニット接続時の設定です。
3. [SOURCE]ボタンを押して設定内容を切り換える
4. 再度[FUNC]ボタンを押す

<u>コントラスト調整</u>

表示部を見る角度に合わせて、表示部のコントラストを見易く調整する機能です。

[SOURCE]ボタンを押すと、0～10段階に調整することができます。

時計表示機能ON/OFF

[SOURCE]ボタンを押すたびに、時計表示のON/OFFが切り換わります。

時刻の設定方法については、16ページの「時刻の設定」をご覧ください。

表示優先切り換え

表示優先を切り換えることができます。

[SOURCE]ボタンを押すたびに、表示優先パターンA/Bが切り換わります。

パターン	チューナーモード	ディスクモード
DISP B~~A~~	放送局名表示	ジャンル・タイトル表示
DISP A~~B~~	周波数表示	経過時間表示

・時計表示がONに設定されている場合は、表示優先に関係なく時計が表示されます。
・また、パターンAに設定しても、放送局名、ジャンル・タイトルが設定されていない場合は表示されません。

MDタイトルスクロールモードON/OFF

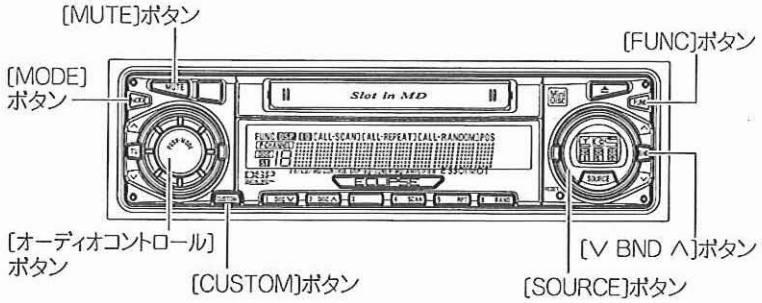
ONに設定すると、MDの演奏中、トラックタイトルが繰り返しスクロールされます。

[SOURCE]ボタンを押すたびに、MDタイトルスクロールモードのON/OFFが切り換わります。

ガイドトーンON/OFF

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。

[SOURCE]ボタンを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。



テレフォンミュートON/OFF

(別売りのハンズフリーユニット接続時のみ)

ONに設定した場合、[MUTE]ボタンを短く押すことでテレフォンミュートのON/OFFを切り換えることができます。

1. [MUTE]ボタンを短く押す
   OFFに設定すると、[MUTE]ボタンを押してもテレフォンミュートのON/OFFは切り換わりません。

フェーズ切り換え

フルレンジスピーカとウーファとの音のつながりを位相を切り換えることにより改善できます。
[SOURCE]ボタンを押すたびに、NORM/REVが切り換わります。
違和感なく音のつながる方を選択してください。

▼時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。 真夜中はAM 12:00、正午はPM 12:00と表示されます。

1. [FUNC]ボタンを押す
2. [CUSTOM]ボタンを押す
   時計調整モードになります。
3. [SOURCE]ボタンを押して時/分を切り換える
   ボタンを押すたびに時/分が切り換わります。
4. [∨ BND ∧]ボタンを上下に動かして調整する
   ∧.....時間が進む
   ∨.....時間が戻る

5．再度[CUSTOM]ボタンを押す
時計調整モードが解除されます。

00分00秒(正時)に時計を合わせたいときは、時計調整モード中に[MODE]ボタンを押します。
正時合わせは、30分単位で切り換わります。
例）PM 3:29→PM 3:00
PM 3:30→PM 4:00

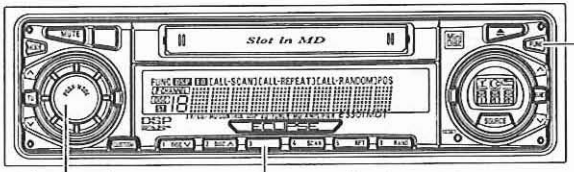
▼ オーディオコントロールモードの切り換え

各モードの微調整が行えます。

1. [オーディオコントロール]ボタンを押す
ボタンを押すごとに、次の順に切り換わります。
1.VOLUME(音量)
2.DSP(簡易調整)
3.FADER(前後のスピーカのバランス)
4.BALANCE（左右のスピーカのバランス）
5.SUB-W LEVEL

2. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回して調整する
右.....強調する
左.....弱める

・DSPがONになっている場合は、FADERは調整できません。
・ポジションセレクタがONになっている場合は、FADER、BALANCEは調整できません。



▼ ラウドネスの設定

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1. 「LOUD ON」と表示されるまで[オーディオコントロール]ボタンを押す

・ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。

▼ポジションセレクタの切り換え

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位を得られます。本機では4種類のポジションを設定できます。

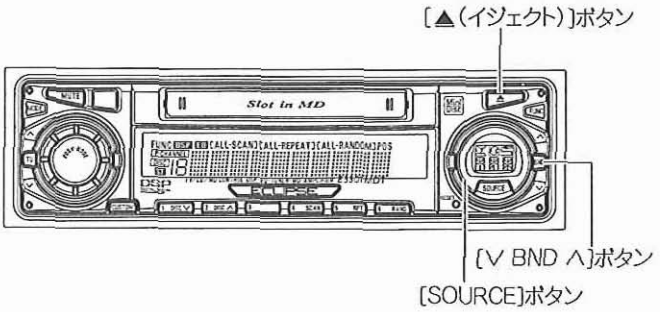
1. [FUNC]ボタンを押す
2. 番号ボタンを[3]押して設定を切り換える

   ボタンを押すごとに以下の順に設定が切り換わります。
   RIGHT（右側）→LEFT（左側）→FRONT（前席）→REAR（後席）→DEFEAT（OFF）
3. [FUNC]ボタンを押す

   ファンクションモードが解除され、設定が有効になります。

警告

自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



◆MD部の操作

長時間モード（MDLPモード）で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生するとトラックタイトルの頭に「LP：」と表示され、再生できません。（無音状態となります。）
ここでの操作は、[SOURCE]ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。

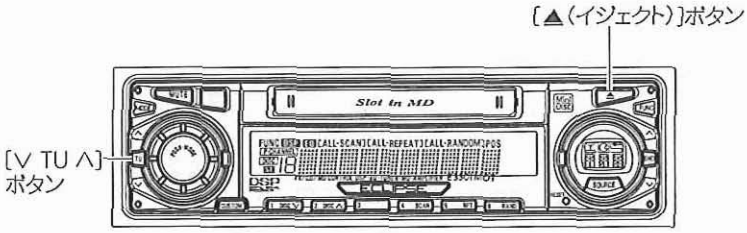
■ MDを聞く

1. ディスクモードに切り換わるまで[SOURCE]ボタンを押す

2. [V BND Λ]ボタンを上下に動かしてディスクモードを切り換える

MDチェンジャー、CDチェンジャーを接続しているときは、ボタンを動かすごとにMDプレーヤー→MDチェンジャー→CDオートチェンジャーの順に切り換わります。
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

ディスクがセットされているときは、[▲(イジェクト)]ボタンが赤く点灯します。



●注意●

MDに傷があると、演奏中に音が途切れることがあります。

■ ディスクを取り出す

1. [▲(イジェクト)]ボタンを押す

装てんされているディスクが排出されます。

■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

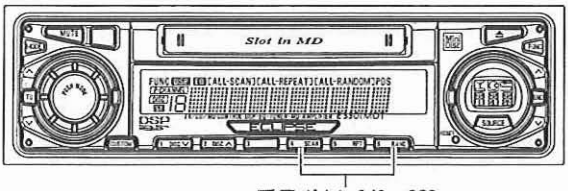
次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1. [∨ TU ∧]ボタンを上下に動かす

∧.....次の曲に進む

∨.....演奏中の曲の頭に戻る

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。



■ 曲の始めの部分を演奏する(SCAN)

1. 番号ボタン [4]を押す
演奏しているMD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。

■ 繰り返し演奏する(REPEAT)

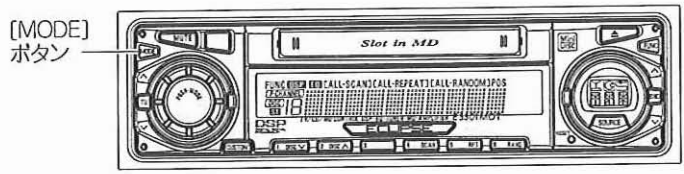
1. 番号ボタン [5]を押す
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

■ 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

1. 番号ボタン [6]を押す
演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

ワンポイント

- まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



■ 表示を切り換える

MDにタイトル名や曲名が記録されいるときは、それらを表示させることができます。
表示部には最大10文字まで表示され、以降の文字はスクロールして表示されます。

▼タイトル表示に切り換える

設定項目の表示優先切り換えで表示優先パターンをAに設定してください。
(14ページ参照)

▼ディスクタイトルを表示する

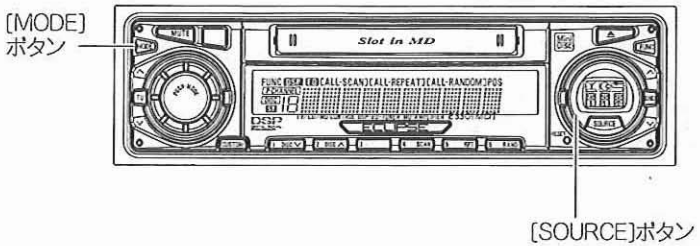
1. タイトル表示中に[MODE]ボタンを押す
   ディスクタイトル→トラックタイトルの順にスクロール表示され、トラックタイトルを表示した状態で止まります。

▼タイトルスクロールモードを切り換える

設定項目のMDタイトルスクロールモードをONに設定すると、MDの演奏中、トラックタイトルを繰り返しスクロール表示します。(14ページ参照)

●注意●

- ディスクにタイトルが記録されていないときはこの機能はご使用になれません。
- 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。



◆チューナ部の操作

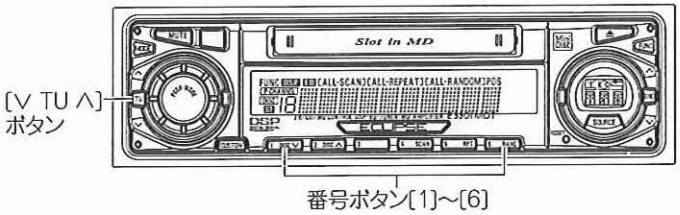
ここでの操作は、[SOURCE]ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。
放送局を記憶させるには、自動と手動の2通りの方法があります。
本機は、AM1、AM2に各6局、FM1、FM2に各6局の合計24局を記憶できます。

■ 自動的に放送局を記憶させる

1.「ASM ON」と表示されるまで[MODE]ボタンを押す

周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。
受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。
「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。

・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
・ご希望の放送局が記憶されなかったときは手動で放送局を選択することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照)



■ 手動で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送局がメモリできなかった場合など、手動で放送を選局する方法を説明します。

1. [∨ TU ∧]ボタンを動かして記憶する周波数に合わせる

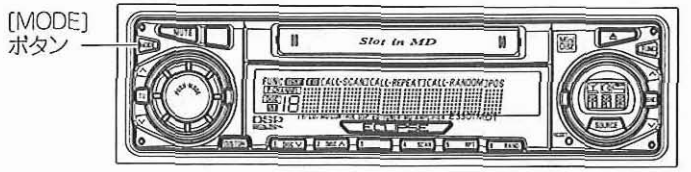
2. 「P1〜6 MOMORY」と表示されるまで任意の番号ボタン [1]〜[6]を押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

以後、番号ボタンを押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができるようになります。

●注意●

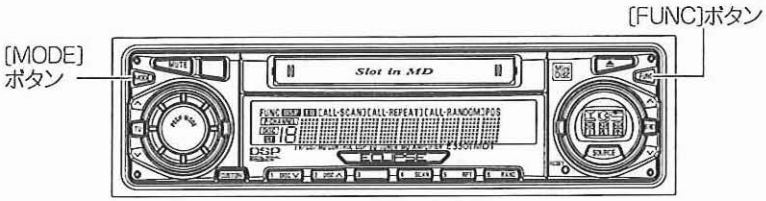
車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンを操作したときは、ここでの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



■ 記憶させた放送局を確認する

1. [MODE]ボタンを短めに押す

「P SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。
再度[MODE]ボタンを押すと解除されます。



■ 放送局名を表示する

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。

▼放送局名のエリアを設定する

表示する放送局名は、各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。

ワンポイント

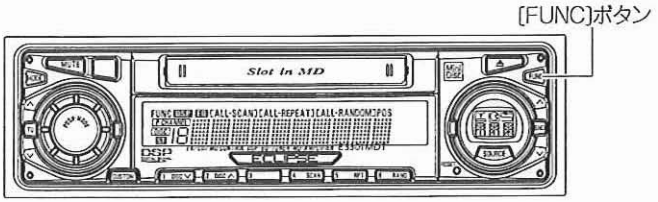
選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。

●注意●

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数はプリセットされません。

1. チューナモード時に[FUNC]ボタンを押す
2. [MODE]ボタンを押す
   ボタンを押すごとに、下表の順に放送局名エリアが切り換わります。ご使用のエリアを選択してください。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡



エリア名	対象となる都道府県
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セッテイカイジョ	

3．再度[FUNC]ボタンを押す

▼表示を切り換える

設定したエリアの放送局名を表示させるには、設定項目の表示切り換えで表示優先パターンをAに設定してください。(14ページ参照)

●注意●

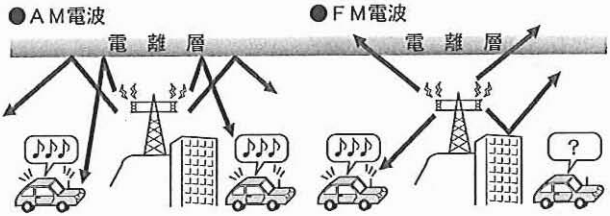
- 500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- 設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- 同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
  IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- 放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- 本機の放送局名データは、平成13年1月1日現在のものです。

■ FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1. FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もでてきます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。

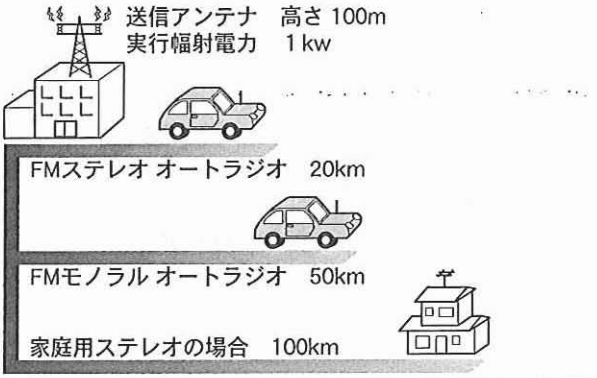


2. フェードアウト

FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

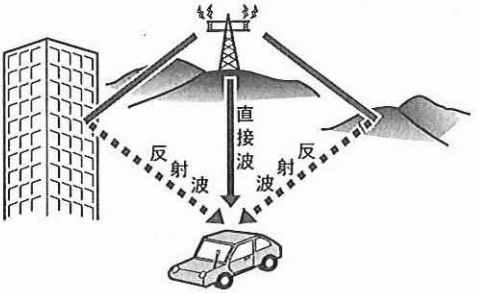
家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。
しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。
電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

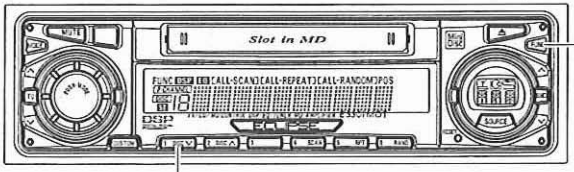


（図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。）

4. マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。
このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。





◆DSP/EQの操作

■ DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現することができます。

1. [FUNC]ボタンを押す

2. 番号ボタン[1]を押してルームサイズを切り換える
5パターンのルームサイズが用意されています。
次の順に切り換わります。

1. CONCERT(コンサートホール)
2. LIVE(ライブハウス)
3. CATHEDRAL(残響音の多い教会)
4. STADIUM(野外スタジアム)
5. CLUB(クラブ)
6. DEFEAT(DSP OFF)

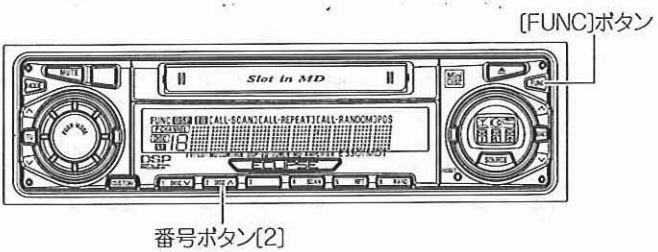
3. 再度「FUNC」ボタンを押す
切り換えたルームサイズが有効になります。

●注意●

各モードのレベルは調整できません。

ワンポイント

・簡易調整については、17ページの「オーディオコントロールモードの切り換え」を参照してください。
・DSPがONになっているときは表示部上部に[DSP]と表示され確認することができます。



■ EQの操作

EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。
ここでの操作は、[FUNC]ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。

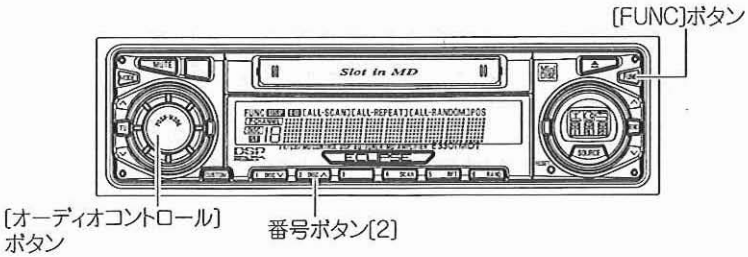
EQがONになっているときは表示部上部に[EQ]と表示され確認することができます。

▼イコライザモードを切り換える

1. 番号ボタン[2]を押してイコライザモードを切り換える

   6パターンのイコライザモードが用意されています。次の順に切り換わります。

   1. POPS(ポップス)
   2. ROCK(ロック)
   3. JAZZ(ジャズ)
   4. CLASSIC(クラシック)
   5. VOCAL(ボーカル)
   6. NEWS(ニュース)
   7. DEFEAT(EQ OFF)



2. [FUNC]ボタンを押す

   切り換えたイコライザモードが有効になります。

▼各モードの詳細を調整する

各イコライザモードの詳細を調整します。

1. 番号ボタン[2]を押して、詳細を変更したいイコライザモードに切り換える
2. 番号ボタン[2]を長めに（1秒以上）押す

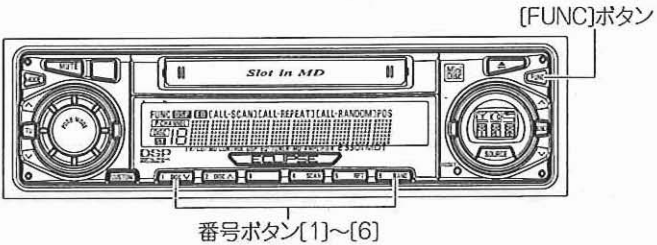
   モード表示が点滅し、EQ調整モードに切り換わります。
3. [オーディオコントロール]ボタンを押して周波数を切り換える

   周波数は、次の順に切り換わります。
   63Hz→125Hz→250Hz→500Hz→1KHz→2kHz→4KHz→8kHz→12KHz
4. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

   レベルを調整します。

   右に回す.....数値が増加

   左に回す.....数値が減少



5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる番号ボタンを押す
   調整したレベルが記憶されます。
6. [FUNC]ボタンを押す
   (「EQ ADJUST」と表示されます。)
   調節モードが解除され、変更した内容が有効になります。

簡易調整については、17ページの「オーディオコントロールモードの切り換え」を参照してください。

▼記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. 番号ボタン[2]を長めに（1秒以上）押す
2. 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押してイコライザモードを選択する
   記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
3. [FUNC]ボタンを押す
   (「EQ ADJUST」と表示されます。)
   選択したイコライザモードが有効になります。

プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは「USER」と表示されます。

◆リモコンの操作

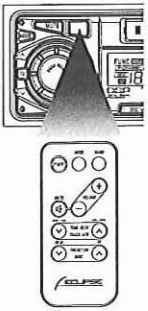
リモコンは別売になっています。販売店でお買い求めください。

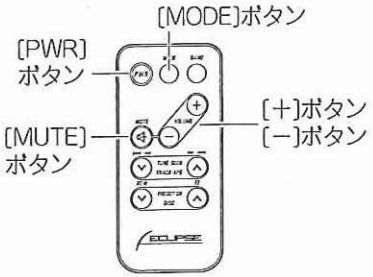
使用上の注意

- リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- 運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- リモコンのお手入れの際は、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて堅くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。





■ 電源を入れる/切る

1. [PWR(パワー)]ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

■ 音量を調節する

1. [+]ボタンまたは[−]ボタンを押す

+.....音量が上がる

−.....音量が下がる

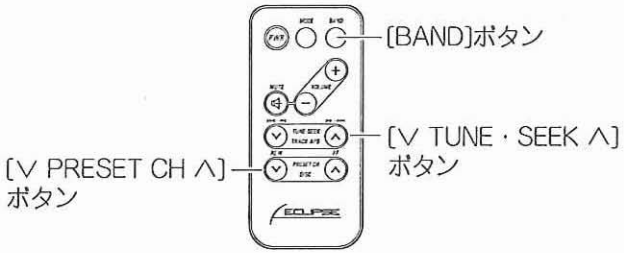
▼瞬時に音量を下げる(ミュート)

[MUTE(ミュート)]ボタンを押すと、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

■ 機能を切り換える

1. [MODE(モード)]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、チューナ→ディスク→TV→AUX→PWR OFF（スタンバイ）の順に切り換わります。



■ チューナ利用時の操作

▼FM/AMを切り換える

1. [BAND(バンド)]ボタンを押す

   ボタンを押すごとに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

▼放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動で放送局を選べます。

1. [∨ TUNE(チューン)・SEEK(シーク) ∧]ボタンを押す

   ∧.....周波数の高い方へ選局

   ∨.....周波数の低い方へ選局

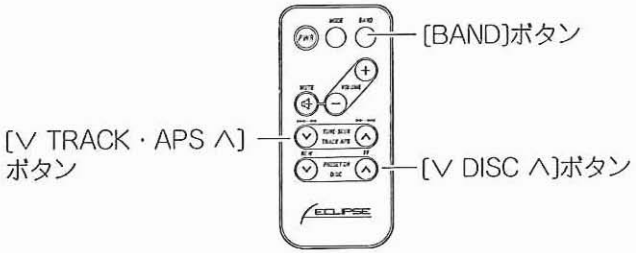
▼記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。(「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照)

1. [∨ PRESET CH(プリセットチャンネル) ∧]ボタンを押す

   ∧.....プリセット番号の高い方へ選局

   ∨.....プリセット番号の低い方へ選局



■ MD、CD利用時の操作

▼次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [∨ TRACK・APS ∧]ボタンを押す

   ∧.....次の曲に進む

   ∨.....演奏中の曲の頭に戻る

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。

▼次のディスクに進む/前のディスクに戻る

(MDチェンジャー、CDオートチェンジャー接続時のみ)

1. [∨ DISC ∧]ボタンを押す

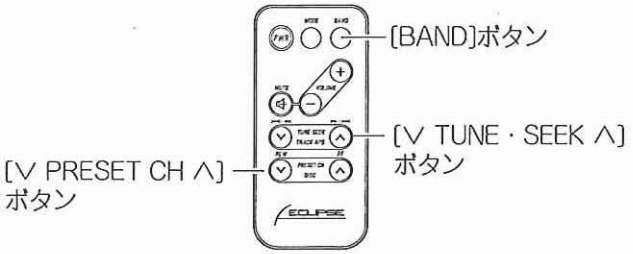
   ∧.....ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動

   ∨.....ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動

▼ディスクモードを切り換える

1. [BAND]ボタンを押す

   ボタンを押すごとにCDオートチェンジャー→MDプレーヤ→MDチェンジャーの順に切り換わります。
   このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。



■ TV利用時の操作
（TVチューナ接続時のみ）

▼チャンネルを選ぶ

1. [∨ TUNE（チューン）・SEEK（シーク） ∧]ボタンを押す

   ∧.....数字が上のチャンネルを選局

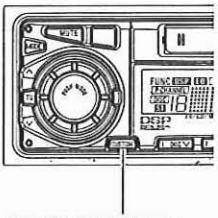
   ∨.....数字が下のチャンネルを選局

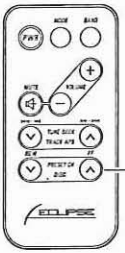
[∨ PRESET（プリセット） CH（チャンネル） ∧]ボタンを使うと、本体でプリセットしたチャンネルを選局できます。

▼バンドを切り換える

1. [BAND（バンド）]ボタンを押す

   ボタンを押すごとに、TV1→TV2の順に切り換わります。





■ リモコンの設定を切り換える

リモコンの持つ機能を3パターンに切り換えることができます。

1. 本体の[CUSTOM]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、A、B、Cの順にパターンが切り換わり、以下の操作に対応できるようになります。

REMOTE A：従来通りの機能

REMOTE B：

[DISC ∧]ボタン.....DSPモードの切り換え
ボタンを押すとルームサイズを切り換えることができます。
切り換え順については、32ページの「DSPの操作」をご覧ください。

[DISC ∨]ボタン.....EQモードの切り換え
ボタンを押すとイコライザモードを切り換えることができます。
切り換え順については、33ページの「EQの操作」をご覧ください。

上記以外は従来通りの機能

REMOTE C：

[DISC ∧]ボタン……ポジションセレクタの切り換え
ボタンを押すとポジションセレクタの設定を切り換えることができます。
切り換え順については、19ページの「ポジションセレクタの切り換え」をご覧ください。

[DISC ∨]ボタン……ディスクイジェクト
ボタンを押すと、装填されているディスクが排出されます。

上記以外は従来通りの機能

■ 電池を交換する

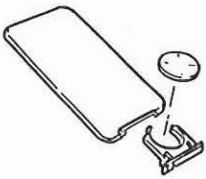
⚠ 警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、CR2025(1個)をご使用ください。

1. リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に動かしながら、引き出し口につめをひっかけて電池ケースを引き出す

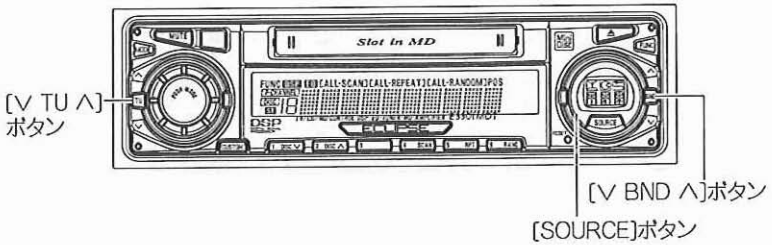
2. 電池を入れ替える
+表示を上にして電池をセットしてください。



3. カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める

●注意●

誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。



◆(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作

■ 基本操作

CDオートチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。
チューナから切り換えるときは[SOURCE]ボタンを押してください。

▼MD/CDを切り換える

1. [∨ BND ∧] ボタンを上下に動かす

   ボタンを押すごとに、CDオートチェンジャー→MDプレーヤー→MDチェンジャーの順に切り換わります。
   このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

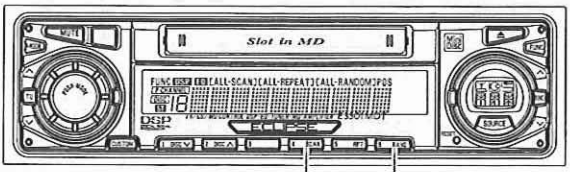
▼次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [∨ TU ∧]ボタンを上下に動かす

   ∧.....次の曲に進む

   ∨.....演奏中の曲の頭に戻る

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。



番号ボタン[4]〜[6]

▼曲の始めの部分を演奏する(SCAN)

1. 番号ボタン [4]を押す

演奏しているCD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。
「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する(REPEAT)

1. 番号ボタン [5]を押す

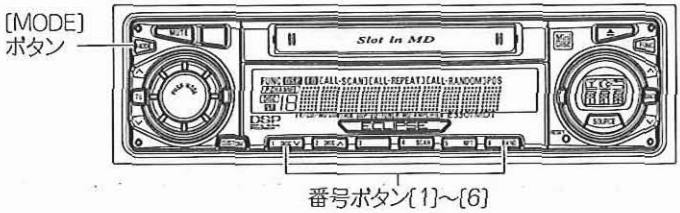
演奏中の曲を繰り返し再生します。
「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

1. 番号ボタン [6]を押す

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。
「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全CD内の曲を順不同に演奏します。

・ まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。



・「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

▼次のCDに進む/前のCDに戻る

1. 番号ボタン[1(DISC ∨)]または[2(DISC ∧)]を押す

   [1(DISC ∨)].....CD 番号が下のディスクへ移る

   [2(DISC ∧)].....CD 番号が上のディスクへ移る

▼演奏するCDを指定する

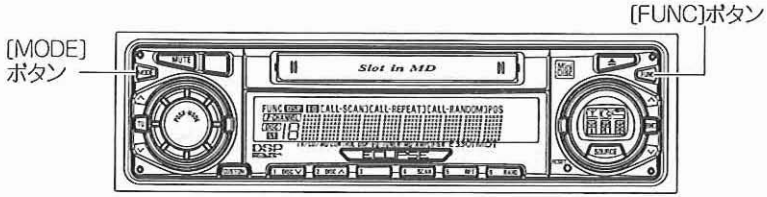
装てんしているCDのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [MODE]ボタンを押す

2. 番号ボタン [1]~[6]のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
CD番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

CD番号7~12を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。



■ CDのジャンルを表示させる

CDのジャンルを設定し、表示させることができます。

▼ CDジャンルを設定する

1. CDモード時に[FUNC]ボタンを押す
2. [MODE]ボタンを押す

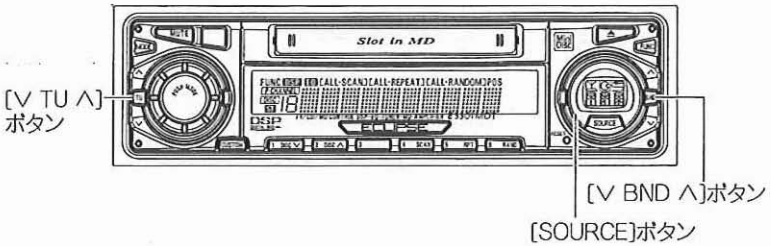
   ボタンを押すたびに次の順に切り換わります。

   1.JAZZ（ジャズ）
   2.POPS（ポップス）
   3.ROCK（ロック）
   4.FUJION（フュージョン）
   5.BALLAD（バラード）
   6.GUEST（ゲスト）
   7.FAVORITE（フェイバリット）
   8.BRANDNEW（ブランニュー）
   9.DELETE（デリート）

3. 再度[FUNC]ボタンを押す

▼ 表示を切り換える

設定したジャンルを表示させるには、設定項目の表示優先切り換えで表示優先パターンをAに設定してください。（14ページ参照）



◆(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作

■ 基本操作

MDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。チューナから切り換えるときは[SOURCE]ボタンを押してください。

長時間モード（MDLPモード）で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生するとトラックタイトルの頭に「LP：」と表示され、再生できません。（無音状態となります。）

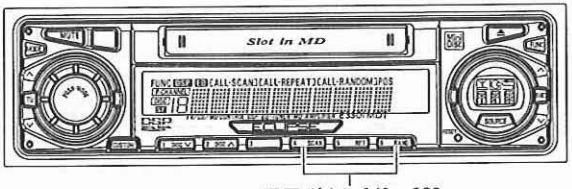
▼MD/CDを切り換える

1. [∨ BND ∧]ボタンを上下に動かしてディスクモードを切り換える
   ボタンを押すごとにCDオートチェンジャー→MDプレーヤー→MDチェンジャーの順に切り換わります。このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [∨ TU ∧]ボタンを上下に動かす
   ∧.....次の曲に進む
   ∨.....演奏中の曲の頭に戻る

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。



▼曲の冒頭を演奏する(SCAN)

1. 番号ボタン [4]を押す

演奏中のディスク内の全曲の冒頭を10秒間ずつ演奏します。
「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスクの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する(REPEAT)

1. 番号ボタン [5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。
「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスク内の全曲を繰り返し再生します。

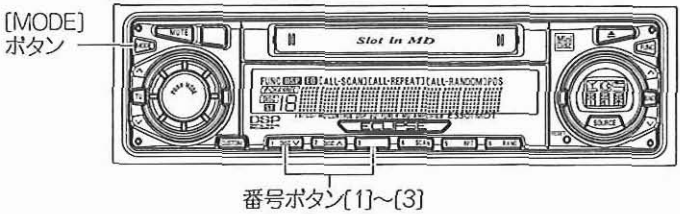
▼曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

1. 番号ボタン [6]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスク内の曲を順不同に演奏します。

ワンポイント

「曲の冒頭を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



▼次のMDに進む/前のMDに戻る

1. 番号ボタン[1(DISC ∨)]または[2(DISC ∧)]ボタンを押す

   [1(DISC ∨)].....MD 番号が下のディスクへ移動

   [2(DISC ∧)].....MD 番号が上のディスクへ移動

▼演奏するMDを指定する

装てんしているMDのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [MODE]ボタンを押す
2. 番号ボタン [1]~[3]のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3
MD番号	1	2	3

■ 表示を切り換える

MDにタイトル名や曲名が記録されているときは、それらを表示させることができます。
表示部には最大10文字まで表示され、以降の文字はスクロールして表示されます。

▼タイトル表示に切り換える

設定項目の表示優先切り換えで表示優先パターンをAに設定してください。
(14ページ参照)

▼ディスクタイトルを表示する

1. タイトル表示中に[MODE]ボタンを長めに(1秒以上)押す
   ディスクタイトル→トラックタイトルの順にスクロール表示され、トラックタイトルを表示した状態で止まります。

▼タイトルスクロールモードを切り換える

設定項目のMDタイトルスクロールモードをONに設定すると、MDの演奏中、トラックタイトルを繰り返しスクロール表示します。(14ページ参照)

●注意●

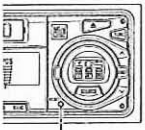
・ディスクにタイトルが記録されていないときはこの機能はご使用になれません。
・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。

◆困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

●注意●

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったものでリセットボタンを押してください。



リセットボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

■ インフォメーションが点滅する

「INFO　No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。
また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。

No.	インフォメーション	対 処
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
5	メカトラブル	・イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 ・イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

*この内容は、MDのみ適用されます。

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	13
		ミュート(MUTE)が働いていませんか。	ミュート(MUTE)を解除してください。	13
		フェダー(FADER)やバランス(BALANCE)が片寄った設定になっていませんか。	フェダー(FADER)、バランス(BALANCE)を適正な位置に調整してください。	17
		その他、音声信号配線の断線、スピーカの故障などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ、電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	記憶した周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	24 25
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ、電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	ガイドトーンが出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	14

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
共通	リモコン操作ができない。	電池が消耗していませんか。	電池を交換してください。	43 44
		電池の向きが＋－逆になっていませんか。	正しい向きにセットし直してください。	43
		リモコン受光部に直射日光が当たっていませんか。	リモコン受光部にリモコンを近づけてご使用ください。	37
		その他、リモコンの故障が考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ出てくる。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	12
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていませんか。	ディスクのラベルを整えてください。	8
		ディスクカトーリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。 変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		無録音のディスクを使用していませんか。	録音済みのディスクを使用してください。	
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。 変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		ディスクカートリッジのラベルがはがれていませんか。	ディスクのラベルを整えてください。	8
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。 キズのあるディスクは、使用しないでください。	
		取り付け角度は適正ですか。取り付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されていませんか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。	7
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、テープなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	24 25
		旅行などで、放送サービスエリアを外れていませんか。	旅行先の地域の放送周波数にセット直してください。（放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。）	12
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

◆仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

MD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	90dB
S/N比	93dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

チューナ部

受信周波数	AM522～1629kHz FM76.0～90.0MHz
実用感度	AM20μV(S/N20dB時) FM15dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz～15kHz(FM)
ステレオセパレーション	38dB

ＡＵＸ部

本体裏 配線（約 40cm）

入力端子	~~前面パネル~~ φ3.5ステレオミニジャック
入力インピーダンス	10kΩ
最大入力	180mVrms

共通部

調整周波数	63Hz、125Hz、250Hz、500Hz、1kHz、2kHz、4kHz、8kHz、12kHz
トーン変化量	±8dB
ラウドネス	・100Hz+9dB ・10Hz+5dB
最大出力	43W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	300mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11～16V)、⊖アース専用
消費電流	1W×4出力時 約3A、最大約13A
寸 法	178mm(幅)×50mm(高さ)×155mm(奥行)
重 量	本体約1.2Kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。
本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
本機は、DSP、TV、MDチェンジャー、CDオートチェンジャーおよびシングルCDと組み合わせることができます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

◆アフターサービスについて

1. 販売店でお渡しする保証書は、かならず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をその場でお確しかめのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

3. 故障かなと思ったときは、修理に出す前に本書の「困ったときは」をご覧のうえ、もう一度お調べください。それでも問題が解決しない場合は、次の要領でお問い合わせください。

   ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店にお持込みください。
   保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
   ＊修理、点検における商品の脱着費用は、保証期間内でも基本的に有償となります。

   ◆ 保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
   お客様のご希望により、有料で修理いたします。

4. 出張による修理および点検はおこなっておりません。
   かならずお買い求めの販売店にお持ち込みください。

5. この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先

〈商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ〉

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前10：00～12：00　午後1：00～5：00
〈土・日・祝日などを除く〉

〈商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ〉

富士通テン北海道(株)	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011)821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、甲信越地区
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字粟宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
仙台支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920-0918 金沢市尾山町1番8号 (朝日生命金沢ビル)	(076)222-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422-8067 静岡市南町18番1号 (サウスポット静岡)	(054)203-0090	静岡
富士通テン関西(株)	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
広島支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松営業所	〒760-0034 高松市内1番13号(日新内町ビル)	(087)822-1411	四国地区
富士通テン西日本(株)	〒812-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号(スカイビル)	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

富士通テン株式会社

所在地　〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸(078) 671-5081(代表)

090002-2436A700
0102MT (N)

E3301MDT